

地 域 再 生 計 画

1 地域再生計画の名称

良好な住環境の基となる水資源の循環都市『柏』まちづくり計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

千葉県柏市

3 地域再生計画の区域

千葉県柏市の全域

4 地域再生計画の目標

4-1 地域の現況

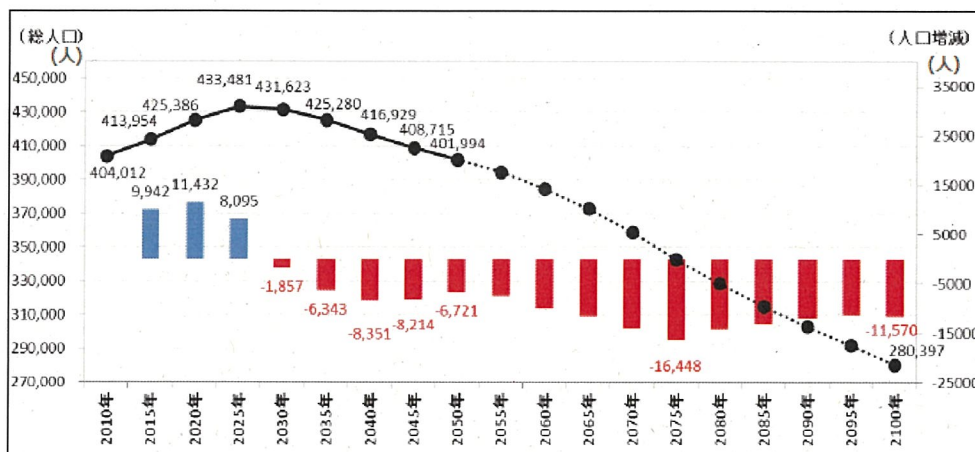
柏市は、千葉県の北西部に位置し、県北西部の商業中心都市として発展してきた。また、都心近郊のベッドタウンとして開発が行われ、人口の増加とともに公共施設や行政サービス等の整備・拡充を進めてきた地域である。

柏市に隣接している手賀沼をはじめとした、利根川や大堀川、大津川、手賀川などを結ぶ一連の豊かな水辺環境は、古くから人々の生活に潤いとやすらぎを与える存在であり、レクリエーションや環境教育の場として市民に親しまれるなど、かけがえのない貴重な資源である。

中でも手賀沼は、千葉県立自然公園「印旛手賀自然公園」にも指定されており、湖畔には、柏・北柏ふるさと公園、手賀沼公園、山階鳥類研究所、手賀沼ビオトープや手賀沼フィッシングセンター等の施設があり、住民生活や観光・行楽でも重要な湖沼となっており、手賀沼の自然に魅せられて東京都心から移住してくる人もいる。かつて日本一汚れた湖沼として有名だったが、周辺自治体の下水道整備の進捗や浄化槽の整備等により、その水質は徐々に改善され、今では、手賀沼トライアスロンや手賀沼エコマラソンなどのイベントが恒例行事として定着し、カヌーやヨットも見慣れた景色になりつつある。

本市の人口は、2010年に404,012人となり、2025年に433,481人でピークを迎える見込みであるが、それ以降は本格的な減少局面に入り、2050年には401,994人になることが予測されている。

地域再生計画の対象期間である2021年（令和3年）から2025年（令和7年）までの人口増加は、8,095人が見込まれている。



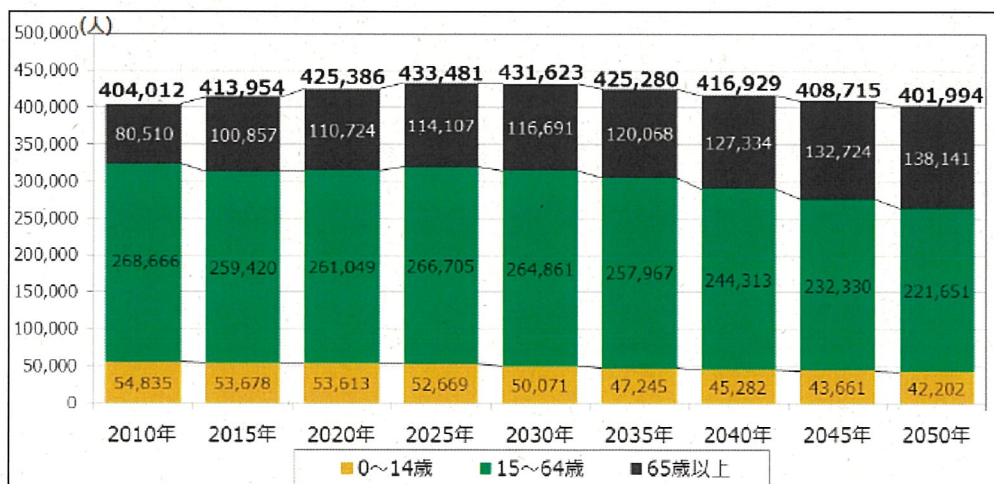
出典：柏市の将来人口推計 柏市 2018年4月 P4

図4-1. 市の行政人口の推移

4-2 地域の課題

柏市では、人口減少の他に、2010年の年少人口（0～14歳）54,835人、生産年齢人口（15～64歳）268,666人、老年人口（65歳以上）80,510人に対し、2050年には年少人口42,202人、生産年齢人口221,651人、老年人口138,141人となる見込みであり、急速に少子高齢化となっていくことが推測されている。また、人口動態の状況として、平成23年（2011年）の東日本大震災以降転出超過となったが、近年は東日本大震災前の水準に戻りつつあるものの、子育て世帯の流出、子供のいない若年層の都内への転出という課題が生じている。

また、依然として手賀沼の環境基準は達成されておらず、こうした負のイメージが定住促進に悪影響を与えている。このような理由から、良好な居住環境の整備や魅力ある都市機能の整備を進めるとともに、人口の流出を食い止め、流入を促進することが急務となっている。



出典：柏市の将来人口推計 柏市 2018年4月 P5

図4-2. 年齢層別の将来人口の推計

4-3 計画の目標

こうした状況を踏まえ、地方創生汚水処理施設整備推進交付金を活用し、公共下水道及び浄化槽の整備を一体的に推進することにより、生活環境の改善並びに手賀沼の水質浄化を図り、柏市への転入促進、転出抑制を進める。

また、公共下水道広報事業として、啓発用ポスター及びパンフレットの製作、環境意識啓発事業として、市ホームページや広報誌等を活用した啓発、法令に基づく事業場排水に係る指導や浄化槽の維持管理指導等を実施し、市民及び事業者の生活環境改善の意識向上、ひいては公共用水域の水質保全を図り、魅力的で安心して暮らせる住環境の整備を進める。

こうした取り組みにより、手賀沼のイメージアップ、ひいては柏の街のイメージを一層向上させ、柏市地方創生総合戦略が掲げる「行きたい 住みたい・選ばれ続けるまち・柏市」の実現を図る。

純移動数の目標は、計画期間内における人口推計の増加として見込まれている8,095人に対し、当計画の実行により9,000人の増加を目指すものである。また、手賀沼環境負荷量(COD75%値)の目標は、当計画の実行により、0.2mg/Lの改善を目指すものである。

(目標)

(1) 純移動数(転入者数-転出者数)の増加

3,000人(令和2年度/2020年度) → 1,000人(令和7年度/2025年度)

表4-1. 純移動数の増加の目標

年度	純移動者増加人数	基準年月
申請時	3,000人	2021年3月
令和3年(2021年)	3,000人	2022年3月
令和4年(2022年)	2,000人	2023年3月
令和5年(2023年)	2,000人	2024年3月
令和6年(2024年)	1,000人	2025年3月
令和7年(2025年)	1,000人	2026年3月

(2) 手賀沼環境負荷量(COD75%値)の改善

10mg/L(令和元年度/2019年度) → 9.8mg/L(令和7年度/2025年度)

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

柏市で施行している公共下水道は、昭和48年度に事業着手し、令和元年度(2019年度)末時点において全体計画7,360haのうち約4,763haが整備済みである。

今後、更なる汚水処理施設の整備を推進するため、地方創生汚水処理施設整備推進交付金により公共下水道及び浄化槽の整備を行うとともに、住民の環境意識向上に係る関連単独事業を実施することにより、水質汚濁や悪臭などの解消を図り、もって自然環境が守られ市民が衛生的でうるおいのある生活を目指す。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生汚水処理施設整備推進交付金【A3009】

対象となる事業は以下のとおり事業開始に係る手続き等を完了している。

- ・公共下水道・・・平成30年（2018年）9月に事業計画策定（変更）

[事業主体]

- ・柏市

[施設の種類]

- ・公共下水道
- ・個人設置型浄化槽

[事業区域]

- ・公共下水道 手賀沼処理区柏北部第1-2処理分区の一部
- ・個人設置型浄化槽 公共下水道事業計画区域以外の区域

[事業期間]

- ・公共下水道 令和3年度（2021年度）～令和7年度（2025年度）
- ・個人設置型浄化槽 令和3年度（2021年度）～令和7年度（2025年度）

[整備量]

- ・公共下水道 $\phi 200\text{mm}$ L=2,150m
- ・個人設置型浄化槽 60基

[事業費]

- ・公共下水道 366,000千円（うち、交付金 183,000千円）
 - ・個人設置型浄化槽 42,000千円（うち、交付金 14,000千円）
- 合計 408,000千円（うち、交付金 197,000千円）

[事業の実施状況に関する客観的な指標及び評価の方法]

令和/年度 (西暦/年度)	基準年 R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
指標 汚水処理施設の整備の促進 汚水処理人口普及率0.4%の向上	94.8%	94.9%	95.0%	95.0%	95.1%	95.2%

毎年度終了後に柏市が必要な調査等を行い、速やかに状況を把握する

[事業が先導的なものであると認められる理由]

(政策間連携)

大規模自然災害が発生しても機能不全に陥らない、迅速な復旧・復興が可能な強くしなやかな都市を目指すため、「柏市国土強靱化地域計画」を策定（R3.3予定）し、当該計画において、災害時等で汲み取り便所や老朽化した単独処理浄化槽等が被災した場合、長期間にわたる機能停止等を回避するための取り組みとして、本地域再生計画に掲げる汚水処理施設の整備事業を位置付ける。

また、柏市の汚水処理人口普及率の向上に向け、公共下水道事業計画区域内は公共下水道での整備、事業計画区域外は浄化槽による整備を進め、市内一体的に整備を行うとともに、公共下水道整備箇所あるいは浄化槽の設置基数について、

柔軟に対応し整備を行うことができる。このような整備方針により、個別に整備を進めることに比べ、効率的かつ効果的な施設配置が可能となり、快適で魅力ある生活環境の整備といった地域再生の目標達成に資するとともに、全体の汚水処理施設整備コストの削減が期待できる。

5-3 その他の事業

地域再生法による特別の措置を活用するほか、「良好な住環境の基となる水資源の循環整備」を達成するため、以下の事業を総合的かつ一体的に行うものとする。

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当無し

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) 浸水被害の解消（防災・安全交付金事業）

内 容 公共下水道整備事業により、浸水被害の軽減を図り、安心して暮らせる市街地環境を創造する（国土交通省支援事業）。

実施主体 柏市

実施期間 令和3年（2021年）4月～令和8年（2026年）3月

(2) 定住の促進（都市構造再編集中支援事業）

内 容 柏北部大室東地区の雨水管の整備により、住環境の改善を行うことで、魅力的で安心して暮らせる市街地環境を創造する（国土交通省支援事業）。

実施主体 柏市

実施期間 令和3年（2021年）4月～令和6年（2024年）3月

(3) 下水道普及率（汚水）の向上（社会資本整備総合交付金事業）

内 容 下水道整備を行い普及率の向上とともに良好な生活環境を創造しながらも、公共用水域の水質保全を図ることにより魅力的で安心して暮らせる市街地を形成する（国土交通省支援事業）。

実施主体 柏市

実施期間 令和3年（2021年）4月～令和8年（2026年）3月

(4) 公共下水道広報事業

内 容 公共下水道の啓発用ポスター、パンフレットの作成を行うことにより、生活環境改善の意識向上、防災意識の向上により、魅力的で安心して暮らせる住環境の創造に寄与する（柏市単独事業）。

実施主体 柏市

実施期間 令和3年（2021年）4月～令和8年（2026年）3月

(5) 環境意識啓発事業

内 容 市のホームページや広報誌等による啓発をはじめ、法令に基づく事業場排水に係る指導及び浄化槽の維持管理指導等を通じ、市民及び事業者の生活環境改善の意識向上、ひいては公共用水域の水質保全を図り、魅力的で安心して暮らせる住環境を創造する（柏市単独事業）。

実施主体 柏市

実施期間 令和3年（2021年）4月～令和8年（2026年）3月

6 計画期間

令和3年度（2021年度）～令和7年度（2025年度）

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

4に示す地域再生計画の目標については、計画期間の中間年度及び計画年度終了後に柏市が必要な常住人口調査等により、速やかに状況を把握する。

定量的な目標に関わる基礎データは、柏市の常住人口データを用い、中間評価、事後評価を行う。

7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

年 度	令和2年度 (2020年度) 基準年度	令和5年度 (2023年度) 中間年度	令和7年度 (2025年度) 最終目標
目標1 純移動数の増加	3,000人	2,000人	1,000人
目標2 手賀沼環境負荷量(COD75%値) の改善	10mg/L ※令和元年度値	9.9mg/L	9.8mg/L

(指標とする数値の収集方法)

項 目	収集方法
純移動数の増加	柏市の毎年の公表人口データより
手賀沼環境負荷量(COD75%値)の改善	千葉県毎年の公表水質データより

・目標の達成状況以外に評価を行う内容

1. 事業の進捗状況
2. 総合的な評価や今後の方針

7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の手法

4に示す地域再生計画の目標に関する事項は、中間評価及び事後評価を行い、速やかにインターネット（柏市のホームページ）を利用して公表する。

添付資料の一覧

- ・ 工程表
- ・ 整備する施設の整備区域又は整備箇所を示した図面

工程表

区分	事業等の名称(番号)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
支援 措置	地方創生 污水処理施設整備推進交付金 (A3009)		公共下水道事業 柏北部第1-2処理分区				良好な住環境の整備による移動人口の増加
			個人設置型浄化槽 公共下水道事業計画区域外				
	防災・安全交付金事業		公共下水道事業 雨水管整備事業				
			公共下水道事業 污水管整備事業				
関連 事業	社会資本整備総合交付金事業						
	都市構造再編集中支援事業		公共下水道事業 利根川第6-1排水区 柏北部地域、 区画整理除外地の雨水管の整備				
	地方単独事業		公共下水道広報事業 公共下水道の啓発等を行うことで住民意識の向上				
			環境意識啓発事業 法令に基づき事業場排水に係る指導や浄化槽の維持管理指導等による環境改善意識の向上				

注: 1) 区分の欄の「支援措置」は、地域再生計画の支援措置に係るもの

2) 区分の欄の「関連事業」は、地域再生計画「5-3-2支援措置」によらない独自の取組に記載した都道府県及び市町村の単独事業等

整備する施設の整備区域又は整備箇所を示した図面

